

平成 16 年 6 月 14 日
日本原燃株式会社

化学試験報告書(その2)の概要について

1. はじめに

当社は、試験運転全体計画書において当初から計画していた9建屋^{*1}に係る化学試験項目について、平成15年12月末までに一通りの試験を終了し、その結果を平成16年1月22日付け化学試験報告書(その1)に取りまとめ報告した。

化学試験報告書(その1)においては、試験期間中に発生した不適合事項、改善要求事項(以下、「不適合等」という。)を試験要領書及び試験手順書に基づき確認された不適合等(以下、「化学試験に係る不適合等」という。)と化学試験に直接関係しない不適合等に分類した上で、化学試験に係る不適合等のうち、処置が完了していないものについては、処置後、必要な再試験、機能確認等を実施し、その結果を別途、報告することとしていた。

本報告書は、平成16年5月末時点における再試験、機能確認等^{*2}の結果及び不適合等の対応状況について報告するものである。

なお、化学試験を平成16年1月から開始した高レベル廃液ガラス固化建屋及び6月^{*3}より開始したチャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋の試験結果については、当該施設に係る不適合等を含め別途、取りまとめ報告する。

- * 1 前処理建屋、分離建屋、精製建屋、低レベル廃液処理建屋、分析建屋、ウラン脱硝建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、低レベル廃棄物処理建屋及び第2低レベル廃棄物貯蔵建屋
- * 2 再試験については、化学試験において実施した試験の判定基準等が満足しなかったため、再度試験を実施する必要があるものであり、機能確認等については、試験の結果に影響を与えるものではないが、当該設備の工事等の実施後に設置状況等について確認を必要とするものである。
- * 3 化学試験報告書(その1)においては、平成16年3月より化学試験を開始する予定と報告したが、通水作動試験において、チャンネルボックス切断片の収納不良が発生し、その措置に時間を要したため、化学試験の開始時期を6月に変更した。

2. 再試験、機能確認等の結果

(1) 再試験の結果

化学試験報告書(その1)において、ウラン試験までに再試験を実施することとした第2酸回収系蒸発缶からの濃縮液の抜出し不良については、配管を改造した後、

再試験を実施し、良好な結果を得た。

第2 酸回収系蒸発缶には、蒸発缶の加熱部において安定した加熱効率が得られるよう、蒸発缶の気液分離部の下部連絡管には、絞り部が設けられている。この絞り部が下部連絡管と濃縮液抽出し配管との接続位置の気液分離部側にあるため、蒸発缶の気液分離部からの濃縮液抽出しに際して圧力損失が大きくなり、濃縮液の抽出しの運転目標値を満足できなかった。そこで、絞り部の位置を下部連絡管と濃縮液抽出し配管との接続位置の気液分離部側から加熱部側に移設する配管の改造を実施し、濃縮液抽出し時の圧力損失の低減を図り、再試験を行うことを化学試験報告書（その1）で報告した。

その後、配管の改造を行い再試験を実施し、濃縮液の抽出しが運転目標値を満足することを確認した。

(2) 機能確認等の結果

化学試験報告書（その1）において、機能確認等が未実施と報告した化学試験に係る不適合等 35 件のうち、プルトニウム分配塔の密度測定不良など 32 件について必要な改造工事等の終了後、機能確認等を行い、良好な結果を得た。未完了の 3 件については、各建屋のウラン試験開始までに機能確認等を行うこととする。

3. 不適合等の対応状況

化学試験期間中に再処理設備本体等において確認された不適合等の件数は、化学試験報告書（その1）において、平成 15 年 12 月末までに確認されたものとして、化学試験に係る不適合等 79 件、化学試験に直接関係しない不適合等 228 件の計 307 件と報告した。

その後、不適合等について、平成 16 年 1 月から平成 16 年 5 月末までに化学試験に係る不適合等は発生していないが、化学試験に直接関係しない不適合等が 107 件確認され、これらを合計すると、不適合等は全部で 414 件となっている。なお、これら不適合等には、それぞれ平成 16 年 1 月及び 6 月から化学試験が開始された、高レベル廃液ガラス固化建屋及びチャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋に係るものは含んでおらず、これら両建屋に関する化学試験結果に関しては、両建屋の化学試験終了後にまとめて報告する。

化学試験期間中に発生した不適合等の状況について、不適合等の件数、処置状況等を表 - 1 に示す。表 - 1 においては、当該設備の工事等が終了し、必要な再試験、機能確認等が終了したものを工事等終了件数として集計している。

不適合等の処理としては、当該設備の工事等の他に、同様な不適合等が発生しないよう是正処置を行うとともに、類似の不適合等が発生していないか、発生する恐れがないか調査を行い、これらの審査、承認等の手続きの終了をもって完了としており、

引き続き、これらの処理を継続していくこととする。

(1) 化学試験に係る不適合等

化学試験報告書(その1)において報告した化学試験に係る不適合等79件を表-2に示す。このうち、75件については工事等が終了しており、表中の対応状況に関しては、平成16年5月末までの進捗状況を反映した。工事等の終了していない4件のうち、化学試験報告書(その1)において、ウラン試験中に再試験を実施することとした臨界安全管理に係る施錠弁に関する計算機ソフトウェアの見直し、改造を除く3件については各建屋のウラン試験開始までに工事等を終了させる。

臨界安全管理に係る施錠弁に関する計算機ソフトウェアの件については、現在、計算機ソフトウェアの見直し、改造を行っているところであり、今後ウラン試験期間中に再試験を行い、ウラン試験報告書にて報告することとする。

なお、前回報告後、これまでの不適合管理の経験を踏まえ、保安に係るレベルの判断基準等をより明確するため、不適合等管理要領を改訂したことから、保安に係るレベルの見直し等を行った。また、化学試験に係る不適合等のうち3件、化学試験に直接関係しない不適合等のうち3件、集計上の誤りがあり、対応状況のうち再試験及び機能確認等の分類についても、集計上の誤りがあったため、表-2においてはこれらの訂正を行っている。

(2) 化学試験に直接関係しない不適合等

化学試験報告書(その1)において報告した化学試験に直接関係しない不適合等228件を表-3に示す。このうち、214件については工事等が終了し、機能確認等を行い良好な結果を得た。

また、その後、平成16年5月末までに発生した化学試験に直接関係しない不適合等107件を表-4に示す。このうち、58件については工事等を終了し、機能確認等を行い良好な結果を得た。

工事等が終了していない67件のうち56件については、各建屋のウラン試験開始^{*4}までに工事等を終了させる。

*4 表-4中の「環状形槽の液温不均一事象対策」については、建屋内でウラン溶液を扱う系統と隔離して改造工事を行うことにより、当該系統(プルトニウム精製系統)のウラン試験開始までに工事等を終了させる。

残りの 11 件は、表 - 5 に示すとおり、ウランを直接取り扱う設備ではなく、各建屋のウラン試験を実施する上で要求される閉じ込め機能、火災・爆発を防止する機能等の安全機能に係らず、ウラン試験を行うに当たり保安上支障がないことを確認しており、ウラン試験開始以降にその措置を継続して実施する。

平成 16 年 6 月以降発生する不適合等であって、ウラン試験開始前に工事等を終了する必要があるものについては、当該系統のウラン試験開始までに工事等を終了させる。

4. おわりに

ウラン試験開始までに再試験を必要とした不適合等について再試験を行い、結果が良好であることを確認した。なお、各建屋のウラン試験開始までに機能確認等を行う予定の不適合等を含め、措置が未完了の不適合等については、是正措置を継続して実施する。

表 - 1 化学試験期間中に発生した不適合等の状況（平成 16 年 5 月末時点）

		対象 グループ	発生 件数	工事等 終了件数	工事等実施中の件数		各建屋のウラン試験開始 までに処置を終了させる こととしたもの		ウラン試験以降に処置 が継続されるものの保 安上支障がないもの ^{*4}	
					グループ 別件数	小計	グループ 別件数	小計	グループ 別件数	小計
化学試験 に係る不 適合等	平成 14 年 11 月 ～ 平成 15 年 12 月 に確認された 不適合等	第 1 グループ ^{*1、3}	79	75	1	4	0	3	1	1
		第 2 グループ ^{*2、3}			3		3		0	
化学試験 に直接関 係しない 不適合等	平成 14 年 11 月 ～ 平成 15 年 12 月 に確認された 不適合等	第 1 グループ ^{*1、3}	228	214	3	14	1	9	2	5
		第 2 グループ ^{*2、3}			11		8		3	
	平成 16 年 1 月 ～ 平成 16 年 5 月 に確認された 不適合等	第 1 グループ ^{*1、3}	107	58	12	49	10	44	2	5
		第 2 グループ ^{*2、3}			37		34		3	
合計		-	414	347	67		56		11	

* 1 : 劣化ウラン粉末を溶解するにあたり管理区域設定を行う分析建屋、ウラン脱硝建屋、低レベル廃液処理建屋、低レベル廃棄物処理建屋、第 2 低レベル廃棄物貯蔵建屋、ウラン酸化物貯蔵建屋、出入管理建屋。

* 2 : 溶解した劣化ウラン溶液等を用いてウラン試験を実施するにあたり管理区域設定を行う前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、ウラン・プルトニウム酸化物貯蔵建屋。

* 3 : 制御建屋、試薬建屋、非常用電源建屋、洞道等に係る不適合等については、* 1、* 2 に示す各建屋のウラン試験を実施する際に共通的に使用する設備を有する建屋であることから、不適合等の内容及び是正すべき時期を勘案し、上記の各グループに振り分け集計した。

* 4 : 表 - 5 に件名及び保安上の影響等について記載した。

表 - 2 化学試験に係る不適合等(1/3)
(平成15年12月末までに確認された不適合等 79件)

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況 ^{*1}
1	締付不良による積算流量計フランジからの微小漏えい	前処理建屋	漏えい	C	a
2	NaOH ^{*6} の熱膨張による除染試薬系バルブの不動作	前処理建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	C	c
3	交換型スチームジェットからの漏えいによる検知ポット液位上昇	前処理建屋	漏えい	C	c
4	廃ガス加熱器の温度制御不良による粒子フィルタカートリッジ溶着剤の溶融	前処理建屋	性能未達・動作不良	C	a
5	異物混入によるサンポンプの液移送不良	前処理建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	C	c
6	仮設ホースの外れによる亜硝酸ナトリウムの飛散	前処理建屋	漏えい	B ^{*3}	c
7	異物混入による計量前中間貯槽ポンプの液移送不良	前処理建屋	その他	C	c
8	ハル・エンドピース充填装置とドラムの位置ずれによるパッキンの損傷	前処理建屋	その他	B ^{*3}	c
9	ハル・エンドピースドラム昇降装置の第2モータトルク異常	前処理建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	C	c
10	計算機による施錠管理のソフトウェア不良	前処理建屋、分離建屋、精製建屋、分析建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	B	b
11	廃ガス処理設備の制御不良による溶解槽の圧力上昇	前処理建屋	性能未達・動作不良	B	a
12	サンプリングニードル先端部の接合不良による脱落	分離建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	C	a
13	異物混入によるポンプの液移送不良	分離建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	C	a
14	プルトニウム分配塔の密度測定不良	分離建屋	性能未達・動作不良	B	c
15	流量計測ポットの設置レベル不良による流量指示不良	分離建屋	性能未達・動作不良	C	c
16	硝酸・純水混合ラインへの空気混入による密度計の指示不良	分離建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	C	c
17	工程管理用計算機の施錠管理機能の不良	分離建屋	その他	C	c
18	操作不良によるサンプリングベンチ(試料採取装置)内での試料ビン噛み込み	分離建屋	破損	C	c
19	据付不良によるコリオリ式流量計の指示不良	分離建屋	性能未達・動作不良	C	c
20	アルファモニタ洗浄ラインへの空気混入による流量不安定	分離建屋	性能未達・動作不良	C	c
21	制御電源の割付け不良によるバルセータの停止	分離建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	C	a
22 ^{*2}	排気ダンプの小風量への追従不備によるアクティブレンチ内負圧の調整不良	分離建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	B	c
23 ^{*2}	溶液の混合不良による高レベル廃液濃縮缶内液位の指示不良	分離建屋	性能未達・動作不良	C	d
24	衝撃によるポリ塩化ビニル製フランジの亀裂発生	精製建屋	破損	C	c
25	オーバーフロー配管の取付け位置不良による油水分離器溶媒排出不良	精製建屋	性能未達・動作不良	B ^{*3}	c
26	異物混入による槽内かくはん用ポンプの流量不足	精製建屋	その他	C	c ^{*4}
27	Uシール切れによる溶媒処理系の真空度低下	精製建屋	その他	B	c
28	衝撃によるポリ塩化ビニル製ポットの亀裂発生	精製建屋	漏えい	C	c
29	圧力損失の過大による蒸発缶からの濃縮液の抽出不良	精製建屋	性能未達・動作不良	B	a
30	系統圧力損失過大による塔槽類廃ガス処理工程排気風量の不足	精製建屋	性能未達・動作不良	B	c
31	漏れ込み空気確保によるバルセーション廃ガス処理系統負圧制御性の改善	精製建屋	性能未達・動作不良	B	c
32	据付不良による溶媒排出用密度計の指示不良	精製建屋	性能未達・動作不良	B ^{*3}	c
33	軸封部の錆発生による回収硝酸受槽ポンプの停止	精製建屋	その他	C	c
34	気液分離槽での圧力損失過大による気相部への硝酸の流出	精製建屋	性能未達・動作不良	B	c
35	希釈率に係る設計確認不足によるスチームジェットポンプの吐出液温度上昇	精製建屋	性能未達・動作不良	B	c
36	塔槽類廃ガス処理系配管の取付位置変更によるミキサセトラ真空制御の改善	精製建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	B	c

*1:平成16年5月末における進捗状況の反映。
 *2:化学試験に直接関係しない不適合等から化学試験に係る不適合等への訂正。
 *3:保安レベルの見直し反映。
 *4:対応状況(再試験/機能確認等区分)の見直し反映。
 *5:内容分類の統一による見直し。
 *6:誤記の訂正。

保安レベル
 A:保安上重要
 B:その他保安
 C:軽微(保安に係らない)

対応状況
 a:再試験実施済
 b:再試験未実施
 c:機能確認等実施済
 d:機能確認等未実施

表 - 2 化学試験に係る不適合等(2/3)
(平成15年12月末までに確認された不適合等 79件)

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況 ¹⁾
37	ベント配管の追置によるウラン濃縮缶濃縮液抜出し流量の改善	精製建屋	改善事項 ^{*5}	B	d
38	温度計の取付不良によるウラン逆抽出器加熱器出口温度計測不良	精製建屋	性能未達・動作不良	B ^{*3}	d
39	オリフィス追加による溶媒処理系窒素封入時間の最適化	精製建屋	性能未達・動作不良	B	c
40	計量調整作業の容易化のための試薬供給ラインの改善	低レベル廃液処理建屋	改善事項 ^{*5}	C ^{*3}	c
41	出力信号の割付不良による純水・飲料水・工業用水設備の停止	低レベル廃液処理建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	C	a
42	シート摺動面の抵抗増大による空気作動ボール弁の不動作	分析建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	C	c
43	開度表示不良によるグローブボックス排風機の風量低下	分析建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	C	c
44	吸気ラインの取付位置の不良による蒸気設備のダクトと塔槽類廃ガス処理設備の取合圧力不整合	分析建屋	その他	C	c
45	遠心ペーンポンプ停止後のサイホン現象による払出槽の液位低下	分析建屋	その他	C	c
46	想定以上のサンプリング循環量による濃縮液受槽、抽出液受槽のサンプリング不良	分析建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	C	c
47	制御不良による外乱試験後の復旧時における建屋内一時正圧状況の発生	分析建屋	性能未達・動作不良	C	c
48	サイホン現象に伴い発生する気泡による濃縮缶凝縮液流量計の指示不良	ウラン脱硝建屋	性能未達・動作不良	B	c
49	脱硝装置B放電による導波管仕切り板損傷	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	破損	C	c
50	点検後の据付不良による第2排風機Bインペラの破損	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	破損	C ^{*3}	c
51	計装用圧縮空気貯槽からの空気の直接供給による制御空気の安定供給の向上	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	改善事項 ^{*5}	B ^{*3}	c
52 ^{*2}	非常用、運転予備用母線負荷の起動不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	C	c
53	調整液供給ノズルの閉塞による熱分解装置供給パージ窒素流量の低下	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	B ^{*3}	a ^{*4}
54	手順書誤記による溶媒処理系窒素分離機出口配管での消石灰堆積	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	C	a
55	逆止弁の不動作による溶媒処理系燃焼装置昇温不足	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	C	a
56	溶媒処理系燃焼装置炉内温度の実測に基づく設定値変更	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	C	a
57	溶媒処理系燃焼装置パイロットバーナ火炎検知の検知不良に伴う検知能力の向上	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	C	a
58	角型容器ふた締装置と位置検出装置との干渉に伴うクリアランスの確保	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	a
59	風量仕様の違いによる換気設備用ダンパの破損および異常振動	低レベル廃棄物処理建屋	破損	B	a ^{*4}
60	インタロック条件の不足による雑固体系ふた開閉装置昇降時の在荷異常発生	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	C	a
61	第3廃棄物保管クレーン吊具着底時におけるワイヤロープのねじれによるキャニスタ回転現象	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	a
62	第3廃棄物保管クレーン吊具と角型容器との干渉	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	a
63	20リットルビン収納時の傾きに伴う吊具と角型容器との干渉	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	a
64	角型容器内収納ラック不良による容器との干渉	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項 ^{*5}	C	a
65	リミットスイッチの設定不良による雑固体系ドラム缶ホイストの移送不良	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	C	a
66	模擬粉体の充てん量不足による圧縮成型装置加熱部吊上機ロッドの破損	低レベル廃棄物処理建屋	破損	B	a
67	ガイドの据付不良による第1廃棄物取扱保管台車とアウトパレルの干渉	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	a
68	乾燥粉体の固着による乾燥装置粉体ホッパー内部からの周期的擦れ音の発生	低レベル廃棄物処理建屋	破損	C ^{*3}	a
69	モータ巻線の仕様違いによる圧縮減容体移送機1プッシュモータの電流値高	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	C	a
70	焼却装置の底ふたとシールプレートの干渉による開閉不良	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	C	a ^{*4}
71	制御ロジック不良による角型容器ふた開閉装置Bリフティングマグネット消磁でのふた落下	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	C	a
72	ワイヤのねじれによる第1廃棄物保管ラックガイドとアウトパレルとの干渉	低レベル廃棄物処理建屋	異音・異常振動	C	a

*1:平成16年5月末における進捗状況の反映。

*2:化学試験に直接関係しない不適合等から化学試験に係る不適合等への訂正。

*3:保安レベルの見直し反映。

*4:対応状況(再試験/機能確認等区分)の見直し反映。

*5:内容分類の統一による見直し。

*6:誤記の訂正。

保安レベル

A:保安上重要

B:その他保安

C:軽微(保安に係らない)

対応状況

a:再試験実施済

b:再試験未実施

c:機能確認等実施済

d:機能確認等未実施

表 - 2 化学試験に係る不適合等(3/3)
(平成15年12月末までに確認された不適合等 79件)

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況 ^{*1}
73	ペローズの二分割化による混合器計重系のパラメータ設定作業の改善	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項 ^{*5}	B	a
74	乾燥装置粉体ホッパ排出における弁開度の改善	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	C	a
75	廃棄物コンベヤ2にて搬送中のHEPAフィルタの旋回を防止する投入機エアシリンダの改善	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	a
76	圧縮減容装置内の干渉による圧縮減容体の排出不良	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作・不動作 ^{*5}	C	a
77	粉体仕切弁の不具合による全閉動作不良	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	C	a ^{*4}
78	粉体閉塞による乾燥装置の停止	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	C	a
79	ねじの緩みによる雑固体廃棄物投入機スライドダンパ全開不良	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	C	a

- *1: 平成16年5月末における進捗状況の反映。
- *2: 化学試験に直接関係しない不適合等から化学試験に係る不適合等への訂正。
- *3: 保安レベルの見直し反映。
- *4: 対応状況(再試験/機能確認等区分)の見直し反映。
- *5: 内容分類の統一による見直し。
- *6: 誤記の訂正。

- 保安レベル
- A: 保安上重要
 - B: その他保安
 - C: 軽微(保安に係らない)

- 対応状況
- a: 再試験実施済
 - b: 再試験未実施
 - c: 機能確認等実施済
 - d: 機能確認等未実施

表-3 化学試験に直接関係しない不適合等(1/8)
(平成15年12月末までに確認された不適合等 228件)

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
1	ハル・エンドピース充てん装置保守に係るインセルクレーン寄り付き不足	前処理建屋	干渉	C	c
2	スチームジェットハンマリング対策	前処理建屋	異音・異常振動	B	d
3	廃ガス処理設備 ワイヤメッシュ不良によるミストフィルタカートリッジろ剤の剥落	前処理建屋	その他	C	c
4 ¹	排気ダクトへ接続する排気ラインの不整合	前処理建屋	その他	B	d
5	溶解槽温度計 誤設置	前処理建屋	その他	A	c
6	自動火災感知器の設置不良	前処理建屋	その他	C	c
7	燃料せん断片シュートA スライディングトラック設置における計測不良	前処理建屋	その他	B	c
8	溶解槽A 燃料せん断片シュート溶接歪みによる外形寸法外れ	前処理建屋	その他	B	c
9	検出配管施工における設計図書との不整合	前処理建屋	その他	C	c
10	ハル・エンドピースドラム搬出扉インフレートシールの破損	前処理建屋	破損	C	c
11	ハル・エンドピース充填装置ケーシング溝の寸法不良	前処理建屋	その他	B	c
12	改造後の確認中における溶解槽A ヒンジシュート洗浄用ノズルの損傷	前処理建屋	破損	C	c
13	レールスパン測定基準の変更による保守用クレーン走行レールスパン許容値外れ	前処理建屋	その他	C	c
14	清澄機B スプレー供給ノズルフレンジ部からの硝酸漏えい	前処理建屋	漏えい	C	c
15	ドラム除染装置取付天井部スラブにおける錆の発生	前処理建屋	その他	B	c
16	コアボーリング施工時における埋設電線切断	前処理建屋	破損	C	c
17	廃ガス処置設備フィルタ容器内壁における錆の発生	前処理建屋	その他	C	c
18	管理区域設定のための建屋間配管隔離及び復旧	前処理建屋	その他	C	d
19	操作ミスによるサンプリングシンクからの硝酸漏えい	前処理建屋	漏えい	C	d
20	真空フィルタケーシング部の錆発生	前処理建屋	その他	C	c
21	2重エアロック扉の同時開によるエレベータ扉の破損	前処理建屋	破損	C	c
22	せん断機内部品の錆の発生	前処理建屋	その他	C	c
23	逆止弁動作不良による凝縮水分離ポット温度高警報の発報	前処理建屋	性能未達・動作不良	C	c
24	硝酸ミストの移行による排気ダクトの腐食	前処理建屋	改善事項	C	c
25	パッキン劣化による硝酸受入ラインにおける弁の内通	前処理建屋	その他	C	c
26	廃ガス処理設備 ミストフィルタカートリッジ純水供給ボスのOリングの損傷	前処理建屋	破損	C	c
27	弁構造部の材質不良による漏えい発生	前処理建屋	漏えい	C	c
28	蒸気系導圧配管の保護ラバーの劣化	前処理建屋	破損	C	c
29	特殊核計装設備中性子発生装置制御ユニットの動作不良	前処理建屋	誤動作・不動作	C	c
30	溶解槽B系 ローラ固着	前処理建屋	その他	C	d
31	雷インパルス試験結果に伴う構内接地網設備の増設、改良	前処理建屋等	改善事項	B	d
32	試薬系における建屋元弁の二重化	前処理建屋等	その他	B	c

*1: 化学試験に係る不適合等から化学試験に直接関係しない不適合等への訂正。

*2: 保安レベルの見直し反映。

保安レベル

A: 保安上重要

B: その他保安

C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

a: 再試験実施済

b: 再試験未実施

c: 機能確認等実施済

d: 機能確認等未実施

表-3 化学試験に直接関係しない不適合等(2/8)
(平成15年12月末までに確認された不適合等 228件)

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
33	溶解液ゲデオン瞬時モード起動後の挙動不安定	分離建屋	性能未達・動作不良	C	c
34	バルセーションオフガス処理システム系統切替時挙動の改善	分離建屋	性能未達・動作不良	C	c
35	ミキサセトラ 有機相のステージ間オーバーフロー	分離建屋	その他	C	c
36	高レベル廃液濃縮工程冷却運転開始時のフラッシュドラム液位低警報の発報	分離建屋	性能未達・動作不良	C	c
37	漏えい検知ポットの液位上昇	分離建屋	その他	B	c
38	機器・配管取り合い部のボルト/ガスケット材質の相違	分離建屋	その他	C	c
39	計装ラック据付ボルト材質間の相違	分離建屋	その他	C	c
40	ソフトウェア不良による生産系制御盤の停止	分離建屋	誤動作・不動作	C	c
41	ソフトウェア不良による建屋監視制御盤画面のロック	分離建屋	誤動作・不動作	C	c
42	工程制御盤 入出力盤のスイッチユニット銘板記入文字の相違	分離建屋	その他	C	c
43	計器ラック計器銘板の相違	分離建屋	その他	C	c
44	よう素フィルタ加熱器電源トリップ	分離建屋	性能未達・動作不良	B	c
45	弁開閉表示の取付不良による硝酸漏えい	分離建屋	漏えい	C	c
46	フリーズバルブ用液体窒素供給配管と冷却水配管との配管距離不足	分離建屋	改善事項	B	c
47	オリフィスポット追設に伴う使用前検査再受検	分離建屋	その他	B	c
48	建屋換気系差圧高による排風機停止	分離建屋	その他	B	c
49	第1酸回収系自動工程停止試験時の排ガス槽液位上昇	分離建屋	その他	C	c
50	排風機 予備機起動インターロックの改善	分離建屋	改善事項	C	c
51	分離建屋からガラス固化建屋への移送配管水封切れによる硝酸の移行	分離建屋	漏えい	C	c
52	フレキシブルホースの誤供用によるカブラ部からの漏えい	分離建屋	漏えい	C	c
53	ポンブドレン弁の誤操作に伴うポンプの損傷	分離建屋	破損	C	c
54	水酸化ナトリウム溶液の飛散による作業員への付着	分離建屋	その他	C	c
55	蒸気用カブラ部からの蒸気漏れ	分離建屋	漏えい	C	c
56	サンプリングノズルと操作架台の干渉	分離建屋	改善事項	C	c
57	オーバーフローによるデミスタ供給除染液のリワーク工程への溢流	分離建屋	その他	C	c
58	スチームジェット真空ブレイクラインへの廃ガス逆流防止	分離建屋	改善事項	C	c
59	圧縮空気系統ヘッダの分岐配管抜出し方向の変更	分離建屋	その他	C	c
60	オリフィスの設置位置の不備	分離建屋	その他	B	c
61	メルク用クレーン・モノレールのチェーン収納バケットの取付け	分離建屋	改善事項	C	c
62	スチームジェットメンテナンス用クレーンのチェーン収納バケットの取付方向の変更	分離建屋	改善事項	C	c
63	ポンブメカニカルシールド配管の構造変更による保守性の向上	分離建屋	その他	B	c
64	バッファポットのオーバーフローラインからの溶液散逸	精製建屋	その他	B	c

保安レベル
A: 保安上重要
B: その他保安
C: 軽微(保安に係らない)

対応状況
a: 再試験実施済
b: 再試験未実施
c: 機能確認等実施済
d: 機能確認等未実施

表-3 化学試験に直接関係しない不適合等(3/8)
(平成15年12月末までに確認された不適合等 228件)

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
65	建屋間取合い調整不足による第2酸回収工程 シールポットの水封切れ	精製建屋	その他	B	c
66	真空発生用スチームジョットポンプの凝縮水ライン接続先の変更	精製建屋	漏えい	C	c
67	補助油水分離槽における水素掃気用圧縮空気流量計の選定不良	精製建屋	性能未達・動作不良	B	c
68	試薬工程 電導度計器レンジ選定不良	精製建屋	性能未達・動作不良	C	c
69	塔槽類廃ガス処理工程外乱試験における圧力センサ異常検出時の警報・インターロックの動作不良	精製建屋	誤動作・不動作	C	c
70 ¹	図面の不備による温水加熱器温水出口温度計の設置位置不良	精製建屋	その他	C ^{*2}	d
71	よう素フィルタ後置フィルタ差圧計導圧配管の誤設置	精製建屋	誤動作・不動作	C	c
72	建屋換気設備 室間差圧計導圧配管の誤設置	精製建屋	誤動作・不動作	C	c
73	NOx発生塔のガスケットの相違	精製建屋	漏えい	C	c
74	配管フランジ部のガスケット材質の相違	精製建屋	その他	C	c
75	ポンプへの異物混入	精製建屋	異音・異常振動	C	c
76	ガンマ線検出器の据付不良	精製建屋	干渉	B	c
77	湿分の侵入による中性子モニタ指示値の不良	精製建屋	性能未達・動作不良	C	c
78	使用前検査受検後のオリフィス配管改造	精製建屋	その他	B	c
79	使用前検査受検後のオリフィス配管改造	精製建屋	その他	B	d
80 ¹	最高使用圧力変更(外圧から内外圧)に伴う耐圧試験の再実施	精製建屋	その他	B ^{*2}	c
81	配管Uシール部の高さ不足	精製建屋	その他	B	c
82	操作ミスによる精製建屋の大物搬入口のシャッタの変形	精製建屋	破損	C	c
83	廃液受槽マンホール仮閉止部からの溢流	精製建屋	漏えい	C	c
84	締切運転による回収溶媒ポンプの損傷	精製建屋	破損	C	c
85	操作ミスによるラインベントからの硝酸ヒドラジンの溢流	精製建屋	漏えい	C	c
86	操作ミスによるダイヤフラムシール付差圧伝送器損傷	精製建屋	性能未達・動作不良	C	c
87	操作ミスによる圧力指示計(ブルドン管式)の破損	精製建屋	破損	C	d
88	仮設フィルタの設置による蒸発缶の異物混入防止	精製建屋	改善事項	C	c
89	飛沫同伴による塔槽類廃ガス処理工程へのPu移行量低減化のための配管ライン変更	精製建屋	改善事項	B	c
90	硝酸ウラナス調整工程における水素濃度測定方法等の改善	精製建屋	改善事項	B	d
91	ボンベ庫の水素ガス取扱方法の変更	精製建屋	改善事項	C	c
92	工程制御盤停止時設定情報不良の改善	精製建屋	その他	C	c
93	硝酸ウラナス調整工程の安全弁噴出し先の変更	精製建屋	改善事項	B	c
94	硝酸ヒドラジン供給ポットのベント配管開放先変更	精製建屋	改善事項	B	c
95	リサイクル配管等の追加による特殊廃液受槽における混合性の向上	精製建屋	改善事項	C	c
96	貯槽マンホール溶接部の溶接構造変更による信頼性の向上	精製建屋	改善事項	B	c

*1: 化学試験に係る不適合等から化学試験に直接関係しない不適合等への訂正。

*2: 保安レベルの見直し反映。

保安レベル

A: 保安上重要

B: その他保安

C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

a: 再試験実施済

b: 再試験未実施

c: 機能確認等実施済

d: 機能確認等未実施

表-3 化学試験に直接関係しない不適合等(4/8)
(平成15年12月末までに確認された不適合等 228件)

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
97	保守用隔離弁の追加	精製建屋	改善事項	B	c
98	純水配管の追加による保守時の貯槽内洗浄の容易化	精製建屋	改善事項	B	c
99	硝酸ウラナス製造器の保守性向上のための弁追加	精製建屋	改善事項	B	c
100	工程制御盤ヒューズ選定不良の水平展開に伴う対応	精製建屋	誤動作・不動作	C	c
101	建屋換気設備 制御系改造後の不適合	低レベル廃液処理建屋	誤動作・不動作	C	c
102	サンプリングボックスの吸気口閉止	低レベル廃液処理建屋	改善事項	B	c
103	ガスケット締付構造不良による弁ボンネット部からの硝酸漏えい	低レベル廃液処理建屋	漏えい	C	c
104	流量調節弁選定ミスによる加熱ループ凝縮水排出不良	低レベル廃液処理建屋	性能未達・動作不良	C	c
105	弁グランドナット材質の相違	低レベル廃液処理建屋	その他	C	c
106	ライニング貯槽補修工事におけるライニングプレートの過切削	低レベル廃液処理建屋	破損	C	c
107	ライニング貯槽 三隅コーナ溶接部の溶け込み不足	低レベル廃液処理建屋	その他	C	c
108	ライニング貯槽補修工事におけるライニングプレート切断寸法の相違	低レベル廃液処理建屋	その他	C	c
109	ライニング貯槽補修工事におけるライニングプレート切断寸法の相違	低レベル廃液処理建屋	破損	C	c
110	ライニング貯槽補修工事におけるライニングプレートの溶接不良	低レベル廃液処理建屋	破損	C	c
111	工程制御盤ファンクションリセット回路の欠落	低レベル廃液処理建屋	誤動作・不動作	C	c
112	ライニング貯槽ライニングプレートの誤切断	低レベル廃液処理建屋	破損	C	c
113	ライニング貯槽補修工事における既設下地材誤切断	低レベル廃液処理建屋	破損	C	c
114	ライニング貯槽補修工事における施工図改訂版の発行遅れによる再施工	低レベル廃液処理建屋	その他	C	c
115	積算流量計検出配管継手部からの漏えい	低レベル廃液処理建屋	漏えい	C	c
116	ライニング貯槽における不適切な溶接	低レベル廃液処理建屋	その他	B	c
117	埋込金物点検による配管切断に伴う使用前検査の再受検	低レベル廃液処理建屋	その他	C	c
118	サンプリング配管改造に伴う使用前検査の再受検	低レベル廃液処理建屋	その他	C	c
119	管理区域設定のための建屋間配管隔離及び復旧	低レベル廃液処理建屋	その他	B	d
120	作業ミスによる蒸気発生器からの漏えい	低レベル廃液処理建屋	漏えい	C	c
121	操作ミスによる屋外廃液収集槽への試験廃液の誤移送	低レベル廃液処理建屋	その他	C	c
122	操作ミスによるサンプリングニードルチューブの曲がり発生	低レベル廃液処理建屋	破損	C	c
123	ドレン弁の操作ミスに伴う廃液中和槽からのオーバーフロー	低レベル廃液処理建屋	漏えい	C	c
124	2種類(硝酸、水酸化ナトリウム)以上の試薬を単一計器で計測する流量計測方式の変更	低レベル廃液処理建屋	改善事項	C	c
125	ドレン・ベント配管追設による冷却水母管における水抜き、水張り時間の短縮	低レベル廃液処理建屋	改善事項	C	c
126	ポンプ交換作業時におけるアウトセルカート走行性の向上	低レベル廃液処理建屋	干渉	C	c
127	排風機分解のための弁仕様変更に伴う使用前検査の再受検	低レベル廃液処理建屋	改善事項	B	c
128	純水供給ラインの配管経路変更による配管、機器等の洗浄作業性の向上	低レベル廃液処理建屋	改善事項	C	c

保安レベル
A:保安上重要
B:その他保安
C:軽微(保安に係らない)

対応状況
a:再試験実施済
b:再試験未実施
c:機能確認等実施済
d:機能確認等未実施

表-3 化学試験に直接関係しない不適合等(5/8)
(平成15年12月末までに確認された不適合等 228件)

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
129	モニタしきい値異常発生	分析建屋	誤動作・不動作	C	c
130	分析ボックス気密扉操作時の負圧上昇	分析建屋	その他	C	c
131	サンプリングベンチニードル交換用グリッパ電磁石位置不良の発生	分析建屋	性能未達・動作不良	C	c
132	サンプリングベンチジャグ詰まり警報発生	分析建屋	その他	C	c
133	分析ボックスの負圧警報の誤発報	分析建屋	その他	C	c
134	スライドリング芯ずれによるロッドとロッドガイドの干渉	分析建屋	干渉	C	c
135	気送設備 ジャグ移送分岐装置の圧入スリーブ接触による回転不良	分析建屋	異音・異常振動	C	c
136	空ジャグ供給装置の動作不良	分析建屋	性能未達・動作不良	C	c
137	蒸気ライン流量指示計の指示不良	分析建屋	誤動作・不動作	C	c
138	自動火災感知器の未設置	分析建屋	その他	B	c
139	弁グランド押えワッジ及びナット材質の相違	分析建屋	その他	C	c
140	配管フランジ部のガスケット使用方法の不良	分析建屋	誤動作・不動作	C	c
141	異物混入によるパディラック運搬容器 サポートテーブルの動作不良	分析建屋	地絡・短絡	C	c
142	自動サンプリング操作における気送統括制御盤と生産系制御盤データの不整合	分析建屋	誤動作・不動作	C	c
143	ソフトウェア不良による気送統括制御盤の動作不良	分析建屋	誤動作・不動作	C	c
144	分析ボックス現場監視制御盤の表示不良	分析建屋	誤動作・不動作	C	c
145	分析管理監視盤の表示不良	分析建屋	誤動作・不動作	C	c
146	操作ボックス補助遮へい体とパディラック付属品テーブルシールドとの干渉	分析建屋	干渉	B	c
147	気送設備貫通孔シールド改造工事に伴うジャグカートリッジの気送停止	分析建屋	その他	C	c
148	気送設備ジャグ通過検知器の誤設置	分析建屋	その他	C	c
149	硝酸受入配管ラインの閉止栓の硝酸微少漏えい	分析建屋	漏えい	C	c
150	自動火災報知設備感知器内への結露水浸入による誤発報	分析建屋	誤動作・不動作	C	c
151	気送管及び空気管のマスタジョイントの設置不良	分析建屋	その他	C	c
152	施工ミスによる埋設電線管切断に伴う火報発報	分析建屋	破損	C	c
153	ポンプの移送流量過大による加温不足	分析建屋	性能未達・動作不良	C	c
154	換気ダクト逆止ダンパ取り付け位置変更に関する手続き不備	分析建屋	その他	B	c
155	作業ミスによる濃縮器ガラス製フィーディングレグの損傷	分析建屋	破損	C	c
156	屋外仮設備廃液タンクからの漏えい	分析建屋	漏えい	C	c
157	外気均圧の未実施による扉の変形	分析建屋	破損	C	c
158	ポンプ空運転による移送不良	分析建屋	異音・異常振動	C	c
159	作業ミスによる硝酸飛沫の顔面付着	分析建屋	その他	C	c
160	分析ボックス内部の錆の発生	分析建屋	その他	C	c

保安レベル
A:保安上重要
B:その他保安
C:軽微(保安に係らない)

対応状況
a:再試験実施済
b:再試験未実施
c:機能確認等実施済
d:機能確認等未実施

表-3 化学試験に直接関係しない不適合等(6/8)
(平成15年12月末までに確認された不適合等 228件)

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
161	廃ガスセパレータのvent先排気系統が外配管の発錆	分析建屋	その他	C	c
162	分析管理用計算機の動作不良	分析建屋	誤動作・不動作	C	c
163	操作ボックス内冷水ラインの結露	分析建屋	その他	C	c
164	建屋換気設備 差圧伝送器 計測表示レンジの改善	分析建屋	改善事項	C	c
165	分析ボックス内エアシリンダ用圧縮空気供給ホースの劣化	分析建屋	破損	C	c
166	試薬関連計装配管ドレン弁からの漏えい	分析建屋	漏えい	C	c
167	気送管保守交換の不良	分析建屋	干渉	C	c
168	換気設備加熱コイル凍結防止対策の実施	分析建屋	性能未達・動作不良	C	c
169	フード排風機の停止	ウラン脱硝建屋	性能未達・動作不良	C	c
170	熱媒循環ライン及び加熱器の圧力計の指示不良	ウラン脱硝建屋	性能未達・動作不良	C	c
171	ガスケット材質の相違による硝酸受入ラインからの硝酸漏えい	ウラン脱硝建屋	漏えい	B	c
172	弁製造不良によるドレン弁からの硝酸漏えい	ウラン脱硝建屋	漏えい	B	c
173	圧力容器胴体内部・管束の腐食及びドレン配管の詰り	ウラン脱硝建屋	その他	C	c
174	施工ミスによる埋設電線管切断に伴う火報発報	ウラン脱硝建屋	破損	C	c
175	屋外消火栓取り合いブルボックスへの雨水浸入	ウラン脱硝建屋	漏えい	C	c
176	目的外使用による仮設配管からの硝酸漏えい	ウラン脱硝建屋	漏えい	C	c
177	2次蒸気発生器安全弁からの液漏れ	ウラン脱硝建屋	漏えい	C	c
178	サンプリングニードルの先端部の接合不良による脱落の水平展開対応	ウラン脱硝建屋	その他	C	c
179	硝酸蒸気除去フィルタの設置	ウラン脱硝建屋	その他	C	c
180	新NOx製造設備の設置	ウラン脱硝建屋等	改善事項	B	d
181	還元炉ヒータの制御不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	性能未達・動作不良	C	c
182	焙焼炉廃ガスフィルタの熱電対誤設置によるOリング損傷	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	破損	C	c
183	焙焼炉昇降りフタと蛍光灯の干渉による損傷	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	破損	C	c
184	圧縮空気設備除湿器のフィルタエレメントの損傷	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	破損	C	c
185	非常用母線単独停電試験時の貯蔵室排風機異常表示の点灯	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	誤動作・不動作	C	c
186	運転予備用母線単独停電試験時の貯蔵室送風機異常表示の点灯	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	誤動作・不動作	C	c
187	機器排水ポンプ起動時における電気設備地絡警報の発報	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	地絡・短絡	C	c
188	運転予備用母線負荷の起動不良	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	誤動作・不動作	C	c
189	H-4メルク用芯合せ治具厚さ寸法過大	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	c
190	塵埃の侵入による建屋送風機用遮断器不良	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作・不動作	C	c
191	蒸気供給流量計指示値オーバースケール	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	C	c
192	建屋換気設備停止時の逆流現象	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	B	c

保安レベル
A:保安上重要
B:その他保安
C:軽微(保安に係らない)

対応状況
a:再試験実施済
b:再試験未実施
c:機能確認等実施済
d:機能確認等未実施

表-3 化学試験に直接関係しない不適合等(7/8)
(平成15年12月末までに確認された不適合等 228件)

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
193	廃棄物保管運転における運転の不成立	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作・不動作	C	c
194	施工不良による角型容器蓋の溶接部の傷発生	低レベル廃棄物処理建屋	破損	C	c
195	ウエストバスケット用キャニスタの製作不良	低レベル廃棄物処理建屋	その他	C	c
196	フォークリフトマストと角型容器供給コンベヤフォークストッパとの干渉	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	c
197	第3廃棄物取扱台車着座リミットスイッチの損傷	低レベル廃棄物処理建屋	破損	C	c
198	ウエストバスケットとキャニスターの干渉	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	c
199	作動油槽からの作動油飛散によるエアブリーザの破損	低レベル廃棄物処理建屋	破損	C	c
200	作業ミスによる建屋換気給気ダクトの変形	低レベル廃棄物処理建屋	破損	C	c
201	冷凍機ベーンモータ動作不良	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	C	c
202	ドラム缶保管ワイヤーの型くずれ	低レベル廃棄物処理建屋	異音・異常振動	C	c
203	排風機吸込圧力計器の動作不良	低レベル廃棄物処理建屋	その他	C	c
204	シール水貯槽への試薬供給方法の改善	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
205	圧縮成型装置不適合事象に伴う設備改善	低レベル廃棄物処理建屋	破損	C	c
206	圧縮空気設備除湿器のフィルタエレメントの損傷	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
207	純水受槽, 飲料水受槽の水温上昇防止に対する改善	低レベル廃棄物処理建屋	漏えい	C	c
208	角型容器クレーン吊具開放用電動工具(ナットライナ等)の設置	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
209	施工ミスに伴うネットワークシステムの停止	制御建屋	地絡・短絡	C	c
210	運転予備用空調冷水系冷凍機凝縮圧力高トリップ	制御建屋	性能未達・動作不良	C	c
211	安全指令放送設備 マイク操作器の誤接続	制御建屋	性能未達・動作不良	C	c
212	改良不備による計算機の再起動不能	制御建屋	誤動作・不動作	C	c
213	火災報知盤・防災盤への火災信号の伝達不良	制御建屋	誤動作・不動作	C	c
214	監視制御盤のコネクタ部圧着不良によるファン異常発生	制御建屋	誤動作・不動作	C	c
215	監視制御盤の表示不良	制御建屋	その他	C	c
216	当直長業務支援/工程管理用(計量管理)計算機のサーバ計算機の異常	制御建屋	誤動作・不動作	C	c
217	n-ドデカン受入口キャップの固着及び切断	試薬建屋	その他	C	c
218	弁のボルト・ナット材質の相違	試薬建屋	その他	C	c
219	廃ガス洗浄塔フランジ異物混入防止用シートの取り忘れ	試薬建屋	その他	C	c
220	受入試薬の仕様の相違	試薬建屋	その他	C	c
221	オープントレンチ配管貫通部からの漏えい	試薬建屋	漏えい	C	d
222	ウォーターハンマー発生によるスチームトラップフロートの損傷	出入管理建屋	漏えい	C	c
223	スチームハンマーによる仕切り弁の弁体及び弁座破損	出入管理建屋	破損	C	c
224	操作ミスによる冷水設備膨張槽水位「低」警報の発報	出入管理建屋	その他	C	c

保安レベル
A:保安上重要
B:その他保安
C:軽微(保安に係らない)

対応状況
a:再試験実施済
b:再試験未実施
c:機能確認等実施済
d:機能確認等未実施

表-3 化学試験に直接関係しない不適合等(8/8)
 (平成15年12月末までに確認された不適合等 228件)

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
225	第2非常用ディーゼル発電機設備ディーゼル機関シリンダ出口清水温度計の指示不良	非常用電源建屋	誤動作・不動作	C	c
226	冷却水排水ピットへの雨水漏えい	非常用電源建屋	漏えい	C	c
227	非常用ディーゼル発電設備蓄熱室給気フードの除雪対策	非常用電源建屋	その他	B	d
228	操作ミスによる貯留設備貯留槽からの漏えい	仮設中和槽	漏えい	C	c

保安レベル
 A: 保安上重要
 B: その他保安
 C: 軽微(保安に係らない)

対応状況
 a: 再試験実施済
 b: 再試験未実施
 c: 機能確認等実施済
 d: 機能確認等未実施

表-4 化学試験に直接関係しない不適合等(1/4)
(平成16年1月～5月末に確認された不適合等 107件)

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
1	溶解オフガス処理設備サンプリングボックス内のバルブガasket型式不整合	前処理建屋	その他	C	c
2	一般空気配管接続施工不備	前処理建屋	その他	C	c
3	操作ミスによるセル内カメラヘッド部分の破損	前処理建屋	破損	C	c
4	安全蒸気ボイラーA 安全弁作動	前処理建屋	性能未達・動作不良	*B	d
5	溶解オフガス処理設備 B系列高性能粒子フィルタDF低下	前処理建屋	性能未達・動作不良	B	d
6	設計ミスによる配管貫通部の遮へい不足	前処理建屋	その他	B	d
7	インセルクレーンカメラ回転ストッパー未設置	前処理建屋	誤動作・不動作	*C	d
8	中性子発生装置B系 No.1高電圧発生装置異常	前処理建屋	破損	*C	d
9	バタフライ弁の振動によるギヤボックスボルトの緩み・脱落/破損	前処理建屋	異音・異常振動	*C	d
10	ドラム搬出口扉のフレーム損傷	前処理建屋	誤動作・不動作	*C	d
11	溶解設備 堰付きサイフォン移送不良	前処理建屋	その他	*C	d
12	燃料横転クレーン「最大処理量：超過」誤発報	前処理建屋	性能未達・動作不良	*C	d
13	建屋換気設備 建屋排風機C点検後復旧ロジックの実機の手順の相違	前処理建屋	誤動作・不動作	*C	d
14	ドラム搬送設備 CRT及び工程管理用計算機のドラム管理No.非表示	前処理建屋	誤動作・不動作	*C	d
15	エンドピースシュートガス洗浄塔6N回収硝酸流量計 設置場所に係る図書不整合	前処理建屋	その他	C	c
16	安全蒸気ボイラーBのパイロットバーナ不着火	前処理建屋	性能未達・動作不良	*B	d
17	NOx発生装置から発生する硝酸性窒素廃液を産廃処理するための仮設工事	前処理建屋、分離建屋、精製建屋	漏えい	*C	d
18	セル内結露水の発生	前処理建屋、分離建屋、精製建屋、低レベル廃液処理建屋	その他	*C	d
19	エアジェットの点検保守用フランジ設置	分離建屋	改善事項	C	c
20	かくはん機順次起動化 動作改善	分離建屋	改善事項	C	c
21	極低レベル無塩廃液受槽の槽内計装配管の疲労破壊による亀裂発生	分離建屋	性能未達・動作不良	C	c
22	ドレン・ベント配管追設による配管改造	分離建屋	改善事項	C	c
23	生産系制御盤汎用演算カードの組み込みソフトウェアの改善	分離建屋	性能未達・動作不良	C	c
24	硝酸供給ラインのベント配管へのバルブ設置	分離建屋	改善事項	C	c
25	インラインモニタ洗浄ポット液抜きライン改善	分離建屋	改善事項	C	c
26	圧空ラインのドレン抜き対策	分離建屋	改善事項	C	c
27	廃液受槽の計装流体の変更に伴う配管追加設置	分離建屋	改善事項	B	c
28	屋内消火栓設備ホース架不具合	分離建屋	その他	C	c
29	サンプリングベンチパレルのオーバーラン対策	分離建屋	性能未達・動作不良	C	c
30	分離ポット"温度高"警報の最適化	分離建屋	性能未達・動作不良	C	c
31	床ドレン用ベント管設置位置の変更	分離建屋	改善事項	C	c
32	常用系無停電電源装置巡視点検中における誤操作	分離建屋	誤動作・不動作	*C	d

保安レベル

- ・発生事象及び処置内容により定めたもの
- A：保安上重要な事項
- B：それ以外の保安に係る事項
- C：保安に係らない事項

- ・発生事象により定めたもの
- *A：保安上重要な事項
- *B：それ以外の保安に係る事項
- *C：保安に係らない事項

対応状況

- a：再試験実施済
- b：再試験未実施
- c：機能確認等実施済
- d：機能確認等未実施

表-4 化学試験に直接関係しない不適合等(2/4)
(平成16年1月～5月末に確認された不適合等 107件)

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
33	共除染・分配工程 第1洗浄塔界面計算に使用する密度計振替による改善	分離建屋	改善事項	C	c
34	ミキサセトラ真空堰及びバルセータ圧力の設定値調整操作の自動化	分離建屋	改善事項	C	c
35	換気設備における差圧制御設定値の監視制御盤指示データ設定誤り	分離建屋	誤動作・不動作	C	c
36	使用前検査受検後の配管の改造	分離建屋	その他	B	c
37	試験用仮設配管が接続している本設配管の使用前検査再受検	分離建屋	その他	C	c
38	NOx発生塔廃液出し仮設設備設置に伴う配管改造	分離建屋	その他	C	c
39	ガイドパイプ補助遮へい体	分離建屋	その他	C	d
40	試験用仮設配管が接続している本設配管の使用前検査再受検	分離建屋	その他	*C	d
41	減酸運転用回収水のベント系への移行	分離建屋	その他	*C	d
42	セル壁の貫通プラグのグラウト材の密度測定用供試体の寸法違い	分離建屋	性能未達・動作不良	B	d
43	ゲート弁のシートリークを制御するための改善措置	分離建屋	誤動作・不動作	*C	d
44	建屋換気設備と塔槽類廃ガス処理設備の取合い圧力調整	分離建屋	その他	C	d
45	建屋換気ダクト腐食対策	分離建屋	その他	C	c
46	温度計シース取り付け銘板の付け直し	分離建屋	その他	C	c
47	弁シート部材質不良による硝酸ライン設置弁の交換	分離建屋	その他	B	c
48	ベント配管における他試薬との接触防止 (硝酸ヒドラジン及び硝酸ヒドロキシルアミン系統ラインの設備改善)	精製建屋	改善事項	B	c
49	速度監視計器収納箱銘板不整合	精製建屋	その他	C	c
50	弁材質相違	精製建屋	その他	C	c
51	液位計の低圧側導圧配管の液溜まり改善	精製建屋	性能未達・動作不良	C	c
52	グローブボックス及びフード差圧計測定位置の改善	精製建屋	改善事項	C	c
53	プルトニウム濃縮液計量槽の年次校正方法の改善	精製建屋	改善事項	*C	d
54	差圧計の指示不良	精製建屋	破損	*C	d
55	スチームジェット駆動蒸気止め弁の制御性の改善	精製建屋	改善事項	C	d
56	ドレン系ベント管開放先換気ダクト吸込み口等の発錆による補修	精製建屋	その他	C	d
57	環状形槽の液温不均一事象対策	精製建屋	性能未達・動作不良	*B	d
58	溶媒再生工程 一配管の隙間腐食	精製建屋	漏えい	C	d
59	一般圧縮空気からの凝縮水によるポンプ停止	精製建屋	性能未達・動作不良	*C	d
60	気液分離槽における充填物(ガラス製ラシヒリング)の破損	精製建屋	性能未達・動作不良	*C	d
61	高圧系統(溶液)ドレン弁の二重化による設備改善	精製建屋	性能未達・動作不良	*C	d
62	アクティブトレンチ、配管収納容器負圧測定用導圧配管の施工図間違いによる誤接続	精製建屋	改善事項	*C	d
63	建屋換気ダクト腐食対策	精製建屋	その他	C	c
64	プルトニウム精製工程TBP洗浄器の有機相堰の改造	精製建屋	その他	C	c

保安レベル

・発生事象及び処置内容により定めたもの
A: 保安上重要な事項
B: それ以外の保安に係る事項
C: 保安に係らない事項

・発生事象により定めたもの
*A: 保安上重要な事項
*B: それ以外の保安に係る事項
*C: 保安に係らない事項

対応状況

a: 再試験実施済
b: 再試験未実施
c: 機能確認等実施済
d: 機能確認等未実施

表-4 化学試験に直接関係しない不適合等(3/4)
(平成16年1月～5月末に確認された不適合等 107件)

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
65	建屋換気ダクト腐食対策	低レベル廃液処理建屋	その他	C	c
66	エアジェットの点検保守用フランジ設置	低レベル廃液処理建屋	改善事項	C	c
67	調節計制御ループにおける監視制御盤指示設定データ設定誤り	低レベル廃液処理建屋	その他	C	c
68	気送管保守交換性の不良	低レベル廃液処理建屋	改善事項	C	c
69	保守ホイストの停止事象	低レベル廃液処理建屋	性能未達・動作不良	*C	d
70	直長盤リアルタイムトレンド表示不良	分析建屋	性能未達・動作不良	C	c
71	サンプリングベンチソフトのバグ改善	分析建屋	改善事項	C	c
72	自火報設備の音響聞き取り不良による音響装置の追設	分析建屋	その他	C	c
73	分解点検復旧後再運転時の誤操作によるポンプの損傷	分析建屋	異音・異常振動	C	d
74	給水設備の建屋間取合構造について設工認図書(溶接構造)との不整合	分析建屋	その他	C	c
75	空ジャグ供給装置異常検出口ジック送信異常の件	分析建屋	性能未達・動作不良	C	c
76	送液スチームジェットポンプA/B出口温度計の誤接続	分析建屋	改善事項	C	c
77	自動充てん装置の作動不良	ウラン脱硝建屋	その他	*C	d
78	ユーティリティ建屋供給圧力現状考慮に伴う常用圧縮空気・窒素・一般冷却水ラインの最高使用圧変更	ウラン脱硝建屋	その他	C	c
79	粉体部コンベア駆動用モータ動作不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	誤動作・不動作	C	c
80	化学薬品貯蔵供給系ボール弁の材質相違	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他	C	c
81	建屋換気設備配管収納容器の負圧表示	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	性能未達・動作不良	C	d
82	ボール弁のグランド押えボルトの材質相違	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他	C	c
83	窒素分離器洗浄ノズルの改善	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	d
84	粉体移送機軸封部へ洗浄水の浸入防止	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
85	粉体ホッパ排出部形状の変更	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
86	弁残留洗浄液低減対策	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	d
87	粉体排出機粉体付着防止用チェーン取付け	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
88	混合機液体バインダノズル閉塞防止	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
89	パワーセンターC2の遮断機不良による雑固体廃棄物焼却系主排風機異常	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	*C	d
90	完了検査(建築基準法)での指摘によるシャッタの交換	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作・不動作	*B	d
91	C2区域給気コイルユニットからの水漏れ	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作・不動作	*C	d
92	圧縮成型装置への混合粉体の供給不良	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達・動作不良	*B	d
93	低レベル廃棄物処理建屋換気筒航空障害灯の不具合	低レベル廃棄物処理建屋換気筒	性能未達・動作不良	*C	d
94	当直長業務支援/工程管理用計算機画面操作不可	制御建屋	誤動作・不動作	C	c
95	工程管理用計算機 データ欠損による再起動不可	制御建屋	性能未達・動作不良	C	c

保安レベル

- ・発生事象及び処置内容により定めたもの
- A : 保安上重要な事項
- B : それ以外の保安に係る事項
- C : 保安に係らない事項

・発生事象により定めたもの

- *A : 保安上重要な事項
- *B : それ以外の保安に係る事項
- *C : 保安に係らない事項

対応状況

- a : 再試験実施済
- b : 再試験未実施
- c : 機能確認等実施済
- d : 機能確認等未実施

表-4 化学試験に直接関係しない不適合等(4/4)
(平成16年1月～5月末に確認された不適合等 107件)

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
96	工程管理用計算機データ授受の不具合	制御建屋	性能未達・動作不良	C	c
97	工程管理計算機 溶液移送管理機能データ入力不良	制御建屋	性能未達・動作不良	*C	d
98	プロセス周期データ表示不良	制御建屋	性能未達・動作不良	C	c
99	ベント配管における他試薬との接触防止 (硝酸ヒドラジン及び硝酸ヒドロキシルアミン系統ラインの設備改善)	試薬建屋	改善事項	B	d
100	化学薬品貯蔵供給系の購入試薬仕様変更に伴う硝酸ヒドロキシルアミン貯槽等の削除	試薬建屋	改善事項	C	d
101	試薬施設の試薬液封対策	試薬建屋	改善事項	B	c
102	試薬建屋 液封対策工事における弁取り付け違い	試薬建屋	その他	C	c
103	建屋間移送(n-ドデカン)不良	試薬建屋	誤動作・不動作	*C	d
104	公害防止協定の窒素上限値を遵守するための措置	試薬建屋	改善事項	C	d
105	試薬施設の試薬液封対策(硝酸供給配管の弁型式交換)	試薬建屋	その他	B	d
106	気送管遮へい体の厚さ不足	出入管理建屋	その他	C	c
107	試薬の受入れ方法の変更 (硝酸ヒドラジン及び硝酸ヒドロキシルアミン系統ラインの設備改善)	洞道等	改善事項	B	d

保安レベル

- ・発生事象及び処置内容により定めたもの
- A: 保安上重要な事項
- B: それ以外の保安に係る事項
- C: 保安に係らない事項

- ・発生事象により定めたもの
- *A: 保安上重要な事項
- *B: それ以外の保安に係る事項
- *C: 保安に係らない事項

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施

表 - 5 ウラン試験開始以降に処置が継続される不適合等の保安上の影響評価一覧

No.	分類	件名	建屋名	保安上の影響
1	表-2 No.10	計算機による施錠管理のソフトウェア不良	前処理建屋、分離建屋、精製建屋、分析建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	ウラン試験は劣化ウランを使用するものであり、施錠管理機能を必要としないことから、保安上支障はないと評価した。
2	表-3 No.18	管理区域設定のための建屋間配管隔離及び復旧	前処理建屋	本件は、配管の隔離復旧後に受検すべき使用前検査を隔離前に受検したことに係るものであり、管理区域と非管理区域の境界については配管隔離は実施していることから、保安上支障はないと評価した。 なお、配管隔離復旧後、再度、使用前検査を受検する。
3	表-3 No.30	溶解槽B系ローラ固着	前処理建屋	ローラの交換は終了しており、今後のローラ交換時に使用する治具の製作及び保守性に関するものであることから、保安上支障はないと評価した。
4	表-3 No.31	雷インパルス試験結果に伴う構内接地網設備の増設、改良	前処理建屋等	大規模な直撃雷を防止する設計となっているが、電撃電流を直接接地網へより有効に分流させるための設備改善であることから、保安上支障はないと評価した。
5	表-3 No.119	管理区域設定のための建屋間配管隔離及び復旧	低レベル廃液処理建屋	本件は、配管の隔離復旧後に受検すべき使用前検査を隔離前に受検したことに係るものであり、管理区域と非管理区域の境界については配管隔離は実施していることから、保安上支障はないと評価した。 なお、配管隔離復旧後、再度、使用前検査を受検する。
6	表-3 No.180	新NOx製造設備の設置	ウラン脱硝建屋等	当該工事は、法令改正により海洋に放出する硝酸系窒素廃液の放出量を極力減らすための工事であり、また、試験中は既設のNOx発生装置を使用することから、保安上支障はないと評価した。
7	表-4 No.18	セル内結露水の発生	前処理建屋、分離建屋、精製建屋、低レベル廃液処理建屋	結露水の発生は、ドリフトレイにおける漏えい注意報、警報を誤って発報させるため、結露水であることを早期に確認できるようサンプル分析の迅速化、結露水の発生量の低減を図る設備改善を行うものであり、保安上支障はないと評価した。
8	表-4 No.32	常用系無停電電源装置巡視点検中における誤操作	分離建屋	常用無停電電源装置の停止に伴い破損した設備の復旧、ハードディスクを有する設備及び中性子モニタの検出器等の健全性確認を必要とするものであり、処置が終了していない中性子モニタの機能については、ウラン試験では必要としないことから、保安上支障はないと評価した。
9	表-4 No.37	試験用仮設配管が接続している本設配管の使用前検査再受検	分離建屋	本件は、配管の隔離復旧後に受検すべき使用前検査を隔離前に受検したことに係るものであり、配管隔離は実施しており、保安上支障はないと評価した。なお、配管隔離復旧後、再度、使用前検査を受検する。
10	表-4 No.42	セル壁の貫通プラグのグラウト材の密度測定用供試体の寸法違い	分離建屋	セル壁の配管貫通プラグにおける密度測定用の供試体が規格どおり製作されていなかったものであるが、ウラン試験中は遮へい機能は必要ないことから、保安上支障はないと評価した。
11	表-4 No.104	公害防止協定の窒素上限値を遵守するための措置	試薬建屋	当該工事は、窒素の排出基準が厳しくなり、一般廃水処理設備への硝酸含有廃液の移送ができなくなったことから、当該建屋内の廃ガス洗浄塔廃水の中和用の硝酸供給配管を撤去する工事であり、保安上支障はないと評価した。